

もうしばらく府中市民でいさせてね

地域おこし協力隊を退任
皆さまお世話になりました

有光梨紗 さん



地域おこし協力隊に採用され、東京から広島県府中市上下町に移り住んだのは3年前の夏でした。右往左往しながら先輩協力隊員たちや地域の方々と空き家を片付け、小商いに奔走した1年目。暗中模索しつつも農事組合法人さん、片野製パンさん、まちづくり協議会さんなど、皆さんにお世話になり、一緒に商品開発した2年目。試行錯

誤で自活の道を探りつつ、移住先を探している人に不動産屋さんと一緒に空き物件を紹介し、仲間を増やしたかった3年目。ここへきて、「応援してるよ!」、「このまちに来てくれてありがとう」という嬉しい言葉も沢山いただけるようになりました。府中市のこと・地域のこと・地域おこし協力隊の役割のことが、自分の中にストンと落ちてきたところなんです。これからが正念場のように思っています。しかし、わたしは、この夏で任期満了を迎えました。「えー! 辞めるの?」と聞かれることもあります。府中市との約束の期限なんです。残念だけど、今日まで地域おこし協力隊になったからこそ出会えた方々や知ったものがたくさんあり、感謝しています。全国各地の協力隊にも出会いました。リーダー的存在の人、新商品を開発して売り出す人、山に入り狩猟を行う人、畑を耕す人、地元の方と結婚して家族(人口)を増やす人、専門分野で活躍する人、と本当にさまざまです。地域おこしに「これが正解!」というのはいないんだなあと分かりました。この制度は、着任した地域で生きていけるかを探ることもあり、また、その人がその人らしく暮らせるかどうかを、「試す」ことでもあるのだと。この3年、わたしは、わたしらしくいられたかどうかと振り返っています。わたしには、まだまだやりたいことがあります。もうしばらく府中市民として暮らすこと・行商に出掛けること・個人事業主として生計を立てられるようになることです。独身なので、何よりも先に早くお嫁に行けば!とも言われますが、結婚はご縁とタイミング。人生は一度しかないもので、後悔なく、誰かのせいにするでもなく、やりたいことをやって、このまちで暮らすチャレンジをし続けます。それが、わたしが地域おこし協力隊になった理由であり、このまちへの希望でもあるからです。引き続き、お世話になります。

第43回元気回復日帰り旅行の参加者を募集します

在宅で高齢者などを介護している皆さんに、リフレッシュと介護者同士の交流を深めてもらうため、日帰り旅行を実施します。

とき 10月4日(木)

※出発は9時にお祭り広場、9時45分に上下町民会館。帰着は17時25分に上下町民会館、18時10分にお祭り広場の予定です。

- 対象 次の全てに該当する人
- ▽介護保険の要介護認定で要介護1以上の人を在宅で介護している家族
- ▽介護者、要介護者ともに府中市に住所がある人
- ※旅行時の介護は、各家庭で対応してください。参加は1世帯から1人としします。
- 内容 ▽奥田元宋・小由女美術館を見学
- ▽三次ワイナリーにてバーベキューの昼食
- ▽三次市民センターきりりにて三山ひろしコンサートを鑑賞
- 定員 33人
- ※申し込み多数の場合は、初めて参加する人を優先して抽選し、後日決定通知書を送付します。参加者が少ない場合は中止します。
- 参加料 2,000円
- ※当日、出発前に徴収します。
- 申し込み方法 電話で申し込みてください。
- 申し込み期間 9月3日(月)14日(金)
- 申し込み・問い合わせ先 府中市社会福祉協議会 (☎47-1294)